

17日 金曜

I サムエル



24:1 サウルがペリシテ人を追うのをやめて帰って来たとき、「ダビデが今、エン・ゲディの荒野にいます」と言って、彼に告げる者がいた。

24:2 サウルは、イスラエル全体から三千人の精鋭を選び抜いて、エエリムの岩の東に、ダビデとその部下を捜しに出かけた。

24:3 道の傍らにある羊の群れの囲い場来到と、そこに洞穴があった。サウルは用をたすために中に入った。そのとき、ダビデとその部下は、その洞穴の奥の方に座っていた。

24:4 ダビデの部下はダビデに言った。「今日こそ、【主】があなた様に、『見よ、わたしはあなたの敵をあなたの手に渡す。彼をあなたの良いと思うようにせよ』と言われた、その日です。」ダビデは立ち上がり、サウルの上着の裾を、こっそり切り取った。

24:5 後になってダビデは、サウルの上着の裾を切り取ったことについて心を痛めた。

24:6 彼は部下に言った。「私が【主】に逆らって、【主】に油注がれた方、私の主君に対して、そのようなことをして手を下すなど、絶対にあり得ないことだ。彼は【主】に油注がれた方なのだから。」

24:7 ダビデはこのことで部下を説き伏せ、彼らがサウルに襲いかかるのを許さなかった。サウルは、洞穴から出て道を歩いて行った。

24:8 ダビデも洞穴から出て行き、サウルのうしろから呼びかけ、「王よ」と言った。サウルがうしろを振り向くと、ダビデは地にひれ伏して、礼をした。

24:9 そしてダビデはサウルに言った。「なぜ、『ダビデがあなたに害を加えようとしてい

る』と言う人のことばに、耳を傾けられるのですか。

24:10 今日、【主】が洞穴で私の手にあなたをお渡しになったのを、あなたの目はご覧になったのです。ある者はあなたを殺すようにと言ったのですが、私は、あなたのことと思って、『私の主君に手を下すことはしない。あの方は【主】に油注がれた方だから』と言いました。

24:11 わが父よ。どうか、私の手にあるあなたの上着の裾をよくご覧ください。あなたの上着の裾を切り取りましたが、あなたを殺しはしませんでした。それによって、私の手に悪も背きもないことを、お分かりください。あなたに罪を犯していないのに、あなたは私のいのちを取ろうと狙っておられるのです。

24:12 どうか、【主】が私とあなたの間をさばき、【主】が私のために、あなたに報いられますように。しかし、私はあなたを手にかけることはいたしません。

24:13 昔のことわざにも『悪は悪者から出る』と言います。私はあなたを手にかけることはいたしません。

24:14 イスラエルの王はだれを追って出て来られたのですか。だれを追いかけておられるのですか。死んだ犬の後でしょうか。一匹の蚤の後でしょうか。

24:15 どうか【主】が、さばき人となって私とあなたの間をさばき、私の訴えを取り上げて擁護し、正しいさばきであなたの手から私を救ってくださいますように。」

ダビデはサウルの頑なな人間性や主への不信仰などを嫌というほど見せられてきましたが、ただ

「主に油そそがれた方」であるという一点において、サウルに逆らうことをしませんでした。その信仰により、ダビデは神の方法により、神の時に勝利を得ることができたのです。自分の判断よりも主の御心を第一にする者を主は祝福せずにはおられません。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

